AD ALTIORA SEMPER
神戸市外国語大学学術情報センターだより 第 33 号

# 身の丈ほどの本

井上　幸和

本を積み上げて、厚手の表紙は取り除いて、身の丈ほどの高さで何ページほどになるだろうか。よほどの暇人（筆者）が計算してみた。紙の質の違い、また身長の個人差もあるが、計算間違いでなければ、ざっと四万ページである。琴欧洲ほどの背丈だと五万ページほどになる。五百ページの本に換算すると、八十冊～百冊ということになる。じつは「百冊ほどの本」を念頭に話そうと思い、百冊というのが実感としてどれほどなのか見当をつけると、上のような比較対象と数字になった。では、何の話かというと、落語家でいうところの「持ちネタ（得意ネタ）」に相当することを、本について話そうというのである。

真打（一人前）の落語家の持ちネタ（噺）の数は、少ない人で五十くらい、多い人では百を越すという。筆者贔屓の立川談志は、得意ネタが二百くらい、知っているというだけならばその倍にもなるらしい。数ある噺の中から、自身の物差しで選び、工夫を加え、拵えあげて、しかも，聞き手（観客）にも広く認められるようになったものだけが、その落語家の「持ちネタ」になるわけで、その数が結果として、五十であったり二百であったりするのである。

＊＊＊＊＊

「落語」と「本」と、関係があるようでないようで、説得力に乏しいが、かまわず強引に結び付ける。（図書館や本のことを書く場所にもかかわらず、真正面から本の話をするのがなぜか気恥ずかしい。）

＊＊＊＊＊

落語家は入門当初は、もちろん、師匠から口移しに噺を教わる。しかし、それはネタを教わっているというよりか、噺のテクニックを習っているに過ぎない。見習い期間（前座）の終わった落語家（二つ目）は、手当たり次第に噺を聞き、読み（落語は読むものでもある）、自分にあった噺をさがし、練りに練り上げて、ついに自家薬籠中のモノとしてしまう。くどいがそれが、その落語家の「持ちネタ」であり「得意ネタ」である。

さて、落語で言う「ネタ」が本に相当するとしたら、「持ちネタ」は、さしずめ「愛読書」ということだろうか。ところが、この「愛読書」という言い方、筆者はあまり好きではない。「私の愛読書」と口にするだけで顔が赤くなる。同様に、誰々の「推薦図書」というのも気に食わない。（ちょっと差し障りがあるかな。この部分、カットしていただいて結構。）世の中の人が皆、落語家になるわけでもないから、皆が「持ちネタ」を持たなければならないというのではない。同様に、皆が「本読む人」（「読書家」という言葉も嫌で、こんな変な日本語になる）である必要も無いが、「持ちネタ」に当たる「持ち本（得意本）」（こちらは意図的な造語）を持つとしたら、その数、生涯で１００冊ほどとしたい。（ようやく、タイトルに近づいてきた。）

結果として生涯で、そんな「持ち本」を何冊、持つことになるのか。今現在の自分を基準に考えてみるのも、一興ではないだろうか。それだけが人生や人間の尺度ではないが、そのような本を何冊持ち得るかも一つの尺度であるとしたら、「身の丈」ほどはあってほしいと思うのである。そんなにたくさん、と思われるかもしれないが、これは、生涯を通してであるから、若い人ならは、今は膝辺りまでと思ってよい。ただ、人生の終る頃には「身の丈」ほどに、と念じ続けることが大切である。

最後に、最も重要なことを。身の丈ほどの、言い換えれば百冊ほどの「持ち本」は、必ず、自力で発掘したものの中から精選しなければならない。少なくとも「推薦図書」などに頼ってはダメ（また、言ってしまった）。

（いのうえ　としかず　本学教授）

# あきらめないで！外大にない資料
## オープンアクセスなら無料で入手できます

谷本　千栄

皆さんは研究に必要な資料をどのように集めていますか？

ゼミや授業で紹介される資料のほか、それらの末尾にある参考文献（引用文献）リストを活用することも多いのではないでしょうか。参考文献リストは多くの場合「図書」と「雑誌論文」が混在して書かれています。読みたい文献を外大図書館で所蔵しているかどうかを確認する[*1]ときは、まずその文献が「図書」なのか「雑誌論文」なのかを見分けて、以下のツールを使って調べてください。

図書 -> OPAC（蔵書検索）
雑誌論文
・掲載誌が分かっていない -> 文献データベース
・掲載誌が分かっている -> 外大図書館の所蔵雑誌目録

図書と雑誌論文を見分けるにはポイントがあります。下に示しているのは、参考文献リストから抜き出した二つの文献の情報です。一つが図書で、もう一つが雑誌論文なのですが、どちらか分かるでしょうか？

① Savignon, S. (1983). *Communicative competence: Theory and classroom practice.* Reading, MA: Addison-Wesley.

② Birdsong, D. (1992). Ultimate attainment in second language acquisition. *Language,* 68, 706-755.

図書と雑誌論文を見分けるポイントは「巻 ( 号 )」「掲載ページ」の有無です。「巻 ( 号 )」「掲載ページ」のあるものは雑誌論文です。

図書の場合は「著者名」「タイトル（書名）」「出版社」「出版年」の 4 項目が分かれば、どの本かを特定することができますが、雑誌論文を特定するには図書と同じ 4 つの項目に加えて、「掲載誌名」「巻号」「掲載ページ」が分かっていなければなりません。図書にはない 3 項目が書かれているのが、雑誌論文の情報ということになります。「掲載誌名」を見分けるのは難しいかもしれませんが、数字で表されている「巻号」「掲載ページ」なら区別しやすいのではないでしょうか。上で紹介した 2 つの文献について、項目を確認すると次のようになります。

① Savignon, S. (1983). *Communicative competence:*
　著者名 .　出版年 .　　書名
*Theory and classroom practice.* Reading, MA:
　　書名 .　　（出版地 ）（出版地）
Addison-Wesley.
　出版社 .

② Birdsong, D. (1992). Ultimate attainment in second
　著者名 .　出版年 .　　論文名
language acquisition. *Language,* 68, 706-755.
　　論文名 .　　掲載誌 , 巻号 , 掲載ページ .

①が図書、②が雑誌論文でした。文献データベースの検索結果の表示も、参考文献リストの書き方とよく似ているので、この見分け方を覚えておいてください。

探している文献が外大の図書館にない場合は、前号でもご紹介した ILL（図書館間相互貸借）サービスにより入手することができますが、最近では ILL を利用することなく文献を入手できる機会が多くなりました。その一因が「オープンアクセス」です。

「オープンアクセス」とは、インターネットを通じてだれでも研究成果を利用できるようにすることです。無料公開の電子ジャーナルや、大学・著者自身のウェブサイトで公開されている研究成果など、インターネットで本文が入手できることが「オープンアクセス」です。気づかないうちにオープンアクセスを経験されている方も多いのではないでしょうか。外大で一番利用されているデータベースは「CiNii（サイニイ）[*2]」ですが、人気の理由もオープンアクセスと関係しています。

CiNii はオープンアクセスの論文も検索することができ、検索画面から本文を直接入手できます。検索結果の画面にある「オープンアクセス」というオレンジ色のボタンがその目印です。オレンジ色を見つけたらぜひクリックしてみてください。

オープンアクセスをさらに普及させるために「オープンアクセスウィーク」という国際週間があり、世界中で様々な催しが行われます。今年は 10 月 18 日～ 24 日で、外大でもポスターを掲示したり、スタンドを置いたりして参加しました。

皆さんも研究成果として発表した論文をオープンアクセスにしてみませんか？オープンアクセスは文献を利用する人だけでなく、著者自身にもメリットがあります。インターネット上に無料公開することで、研究成果をより多くの人に知ってもらうことができます。

外大の図書館ではオープンアクセスを実現する専用ウェブサイト[*3]の準備をすすめています。ご自身の研究成果をオープンアクセスにしたいと思われたら、ぜひ図書館までご連絡ください。

*1 冒頭でご紹介したのは、文献の探し方のごく一部です。参考文献リストの見方や文献検索の方法については、ゼミを対象に実施中の図書館ガイダンスで詳しくご紹介しています。ガイダンスは随時受け付けているので、お申込みお待ちしています。

*2 CiNii : NII 論文情報ナビゲータ（http://ci.nii.ac.jp/）

*3 既に世界の多くの大学・研究機関では「機関リポジトリ」と呼ばれる専用サイトで、所属している研究者の研究成果を公開しています。JAIRO（ジャイロ）: Japanese Institutional Repositories Online（http://jairo.nii.ac.jp/）では、国内の機関リポジトリで公開されている学術情報を横断的に検索することができます。

（たにもと　ちえ　図書館職員）

シリーズ わたしのしごと　カウンター編

## あなたの疑問を解決します！

## こたえるひと：福井 望

**-- 図書館のカウンターって、本を借りたり返したりする時にしか行ったことがありません。**

それはもったいない！図書の貸出・返却を主に行っているのは確かですが、決してそれだけではありません。カウンターでは、皆さんの図書館利用や資料探しのお手伝いもしているんですよ。

**-- どんな時に、カウンターに行けばいいんですか？**

どんな時でも、です。ほんの些細なことでも、何か知りたいことが出来たときに、ぜひカウンターへお越し下さい。きっとお役に立つことが出来ると思います。

例えば、探している本が外大図書館にあることは分かっているのに、OPAC で検索しても全然ヒットしない、という経験をされたことがある方は少なくないと思います。そんなとき、カウンターに声をかけていただければ、探している資料を上手に検索する方法をお教えします。キーワードを少し変えるだけで、驚くほど検索結果が変わることがあるんですよ。

また、検索してヒットはしたけれど、書架へ行っても見当たらないという質問もよくお受けします。これは請求記号[*1]の見方やロケーションを間違えていて見つけられないという場合がほとんどです。視点を変えてみるとすぐに見つかることが多いので、自分で見つけられなくても諦めずに、職員に声をかけていただけたらと思います。

**-- 自分で探して見つからないからといって、すぐに諦めたらもったいないということですね。**

それから、検索してヒットした図書が貸出中という場合もよくあります。そんな時は、どうされていますか？

**-- 返却されてから借りようと思って、また後日検索することにしています。**

同じようにされている方は多いでしょうね。でも、貸出中の図書は予約をすることができるんですよ。予約を入れておけば、その本が返却された時にお知らせし、カウンターに取り置いています。OPAC では貸出中であることしか分かりませんが、カウンターに来ていただければ返却期限もお調べできるので、必要な時までに間に合うか考えて予約してもらうことも可能です。

**-- なるほど。予約しておけば確実に借りられるんですね。でも、いちいち申込書を記入するのが面倒くさくって…**

そんな人のためには、オンラインで予約が出来るサービスがありますよ。OPAC で検索して貸出中だった場合、その画面から予約を入れることが出来ます。マイページにログインするためのパスワードをカウンターで発行しているのですが、一度パスワードを取得すれば、ご自宅のパソコンからでも図書の予約ができるようになります。

さらに、マイページでは、現在借りている図書の返却期限を延長することも出来るんですよ。返却期限内で予約が入っていない場合、1 度だけですけどね。

**-- 今まで、カウンターに持参して延長してもらっていました。ただでさえ荷物が重いので、結構大変だったんです。本を持っていかなくても延長できるのはすごく助かります。**

ここまでお話ししたのは、外大図書館で所蔵している資料の探し方ですが、残念ながら外大に無い資料はどれだけ上手に検索してもやはりヒットしません。ですが、そんな時も必要な資料を入手する方法があるのをご存知ですか？

**-- えっ、外大に無くても入手できるんですか？**

そうなんです。いくつか方法があって、オンラインデー

タベースを利用して本文を閲覧できるものもありますし、ILL[*2]という制度を利用して他の図書館から図書や文献のコピーを送ってもらうという方法もあります。お探しの資料を所蔵している図書館が近ければ、直接訪問することも出来るんですよ。ただ、ILLは資料の郵送料やコピー代が自己負担なので、どの制度を利用するのが一番良いかは、それぞれの条件を考えた上で選んでいただくと良いと思います。そのための制度の説明や相談は、カウンターでじっくりと対応させていただきますよ。また、外大で所蔵していない資料を探すときは、OPAC以外の検索システムを利用します。たとえばWebcatPlusなどですが、使い方が分からない場合もカウンターの職員に声をかけてくださいね。

**-- そんな制度があるとは知りませんでした。レポートに使えそうな資料が少ない時に困っていたのですが、外大に無い資料まで利用できるのであれば、調査の幅がすごく広がると思います。**

それから、具体的な資料は決まっていなくても「○○についての資料がほしい」ということだけが分かっている場合もあると思います。そんな時、何をどう使って資料探しをするのが良いのかという相談もカウンターで受け付けています。カウンターですぐには答えが出ない場合も、お時間をいただければ調査してから改めて回答を差し上げています。

こんな風に、利用者の皆さんの情報を手に入れたいという要求にお応えするのが私たちの仕事です。カウンターの職員は皆さんに声をかけられるのを待っています。ふとした疑問を解決したいとき、自力での資料探しに行き詰ったとき、どんなことでも結構ですのでお尋ね下さい。

*1 図書館資料の背に貼ってあるラベルの番号。OPACでは「書架分類」の枠を見てください。資料IDとは別物なのでご注意下さい。
*2 Interlibrary Loanの略。詳しくは本誌第32号「シリーズ　わたしのしごとILL編」をご覧下さい。

（ふくい　のぞみ　図書館職員）

## 図書館日誌　2010年7～10月

7月1日　ゼミガイダンス実施
20日　長期貸出開始
27日　ゼミガイダンス実施
見学受入5回
8月8日/22日　オープンキャンパス外国語図書展示
司書による書庫見学ツアー
13日　子ども参観日
16日～23日　蔵書点検
20日　近畿機関リポジトリ連続研修会（於本学）
見学受入2回
9月24日　ゼミガイダンス実施
10月1日　展示「司書のおすすめ」第10回
13日　展示「ノーベル文学賞受賞　マリオ・バルガス＝リョサ」
見学受入5回

## 夏季蔵書点検を行いました

8/16(月)～23(月)の間、蔵書点検等の作業を行いました。今年度は閲覧室の約8万冊に加え、書庫資料の一部の点検を済ませることができました。また、書庫内の雑誌バックナンバーを大幅に移動することで、今後の増加分を置くスペースを確保することができました。並行してDVD等視聴覚資料の点検、貴重書の曝書も行いました。

期間中は閉館のためご迷惑をおかけしましたが、開館時に行うのは難しい諸々の作業が完了しました。ご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。

（橋本）

AD ALTIORA SEMPER 神戸市外国語大学学術情報センターだより　第33号　ISSN　0919-2336
「AD ALTIORA SEMPER」とはラテン語で「常により高きを求めて」という意味です
編集・発行：神戸市外国語大学学術情報センター
〒651-2187 神戸市西区学園東町9丁目1
TEL：078-794-8151 / FAX：078-797-2257
URL：http://www.kobe-cufs.ac.jp/library/
2010年12月15日発行　発行責任者：センター長　和田四郎